

保存版
2025年
3月作成



丹波山村 防災 マニュアル



避難行動への心得と備え

- 家族と被災時のルールについて話し合う 2
- 避難行動への心得 3
- 災害に関する情報に注意 4
- 「避難警戒レベル」に注意 5
- 避難に関する情報 5
- 特別警報について 6
- 雪害による被害 6

ハザードMAP

丹波山全図

6

避難所一覧

- ①奥秋 6
- ②上・中・下組 7
- ③高尾・押垣外 8
- ④保之瀬 10
- ⑤所畠 11
- ⑥鴨沢 12
- ⑦小袖・杉奈久保 13
- ⑧ 14

非常持出品と備蓄品

主な非常持出品と備蓄品リスト

15

避難行動への心得と備え

家族と被災時のルールについて話し合う

災害は家族が一緒に起きるとは限りません。そんなときでもあわてずにすむように、家族が離ればなれになった時の連絡方法や集合場所などを日ごろから決めておくことが大切です。

話し合って決めたことは、書き込んでおきましょう

連絡先・連絡方法を決めておきましょう

災害が発生した際に家族と連絡がとれるように、いざというときの連絡先、連絡方法、災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板サービス（P.5 参照）などの使い方について家族で話し合っておきましょう。



集合場所を決めておきましょう

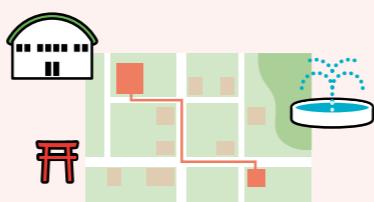
連絡手段が利用できないことも想定し、家族で集合場所を話し合っておきましょう。また、万が一のことを考えて、複数の集合場所を決めておきましょう。

集合場所は、例えば「公園」だけでなく「噴水の前」などと具体的に決めておきましょう。



安全な避難順路の確認

- 避難場所までの実際の道順を確認しましょう。
- 目印になるものを、おぼえておきましょう。



帰宅困難になった場合に備えましょう

帰宅が困難となった場合は、無理に帰宅しようとせず、職場や学校、避難所などの安全な場所で待機し、家族や自宅の安全を確認するとともに、テレビやラジオなどから正確な情報を入手するようにしましょう。また、普段から職場には食料や飲料水などを備えておくようにしましょう。



防災MEMO ①



防災情報アプリ @InfoCanal

丹波山村では、警報発令時や、避難指示を出す際に防災放送タブレットと、屋外スピーカーを使って放送いたします。村外へ外出している際や、防災放送タブレット・屋外スピーカーの聞こえない場所にいるときに備え、防災情報アプリ「@infoCanal」のインストールをお願いいたします。「@infoCanal」では、防災放送タブレットと屋外スピーカーで放送される内容と同じ内容を知ることができるために、いつでも情報を受け取ることができます。

インストール方法はQRから



iOS 用



Android 用

避難行動への心得

1 2人以上で避難

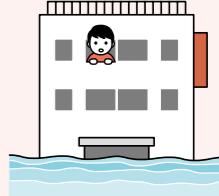
2 助け合って避難

3 安全な避難

4 避難は徒歩で

5 避難に遅れたら

村役場、消防署、警察署からの避難の呼びかけに注意し、できるだけ1人の避難は避けましょう。また、子どもからは目を離さないようにしましょう。子どもや高齢者、病気の人などは避難に時間がかかるので、早めに避難させましょう。また、近所の人の場合も積極的に協力しましょう。浸水があった場合は、溝や水路に十分注意しましょう。また、狭い道や堀のそば、川の近くなどの危険が潜んでいる箇所をできる限り避けましょう。車での避難は、緊急車両通行の妨げや交通渋滞を招くほか、浸水により動けなくなるおそれもあります。特別な事情がない限り、徒歩で避難しましょう。万が一、避難に遅れ危険が迫ったときは、近くの丈夫な建物のできるだけ高い所に逃げましょう。



● 在宅避難を考えましょう

「とにかく災害が起きたら避難所へ！」そう考えていませんか？避難とは「難」を「避」けることなので、避難する場所は様々あります。中でも、たくさん的人が集まる避難所では環境の変化によって体調を崩すおそれがあり、感染症のリスクも高まります。また、ペットを飼っている方はペットの健康被害も心配されます。自宅に倒壊などの危険がない場合は在宅避難をおすすめします。日頃から、住まいの防災対策や、もしもの時に必要なものを確認し、備蓄しておきましょう。



● 分散避難について検討しましょう

予め災害時の安全性を確認したうえで、指定避難所等以外の場所に避難することを「分散避難」といいます。指定避難所が遠いなど、お住いの地域の事情に応じて、分散避難することを検討してください。



縁故避難

事前に了承を得たうえで、安全な親せき宅や知人宅に避難する方法です。

どのような災害時に避難するか避難先の家族と相談して理解を得ておきましょう。

村外宿泊施設

直面している災害に対して安全なホテルや旅館などに避難する方法です。ハザードマップで立地や移動ルートの安全性について確認しておきましょう。

車中・テント避難

指定避難所の定員を超えている場合など、やむを得ない場合には自家用車に避難したり、安全な場所にテントを設営して避難する方法もあります。

車中避難の場合には、エコノミークラス症候群に注意が必要です。

災害に関する情報に注意

災害が発生したり、発生するおそれがある場合、防災行政無線・緊急速報メール・広報車・テレビ・ラジオ・市ホームページなどで、災害に関する情報を伝達します。正しい情報を入手し、落ち着いて行動するようにしましょう。



全国瞬時警報システム(Jアラート)

弾道ミサイル情報、緊急地震速報、噴火警報等、対処に時間的余裕のない事態が発生した場合に、緊急情報が消防庁から人工衛星を使って送信され、防災行政無線から自動的にメッセージが放送されるシステムです。警報が発表された場合は、周囲の状況に応じて、あわてず、まず身の安全を確保しましょう。

国民保護に関する情報

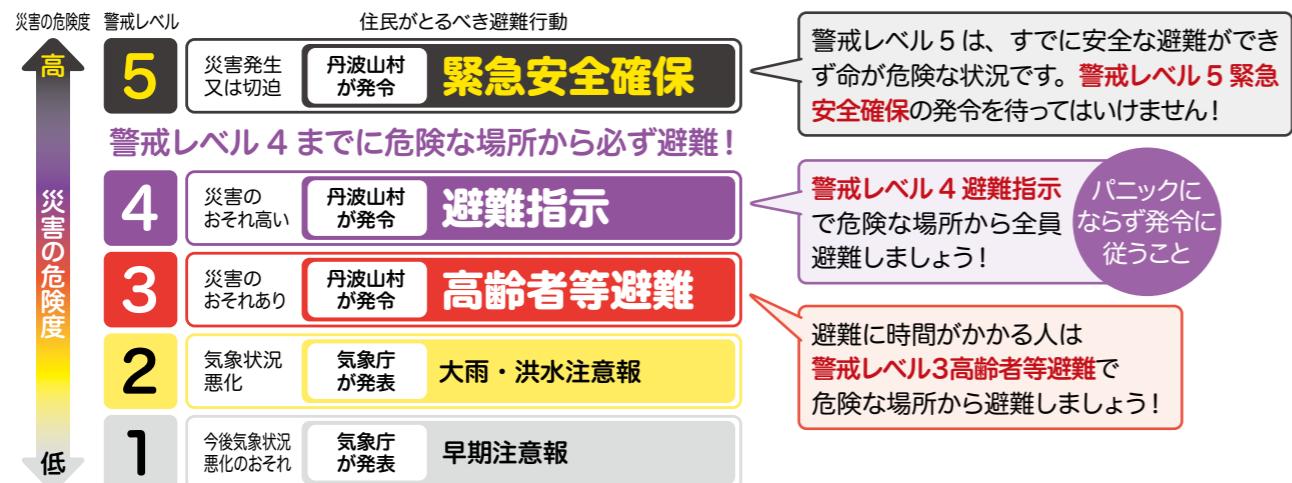
- 弾道ミサイル情報
- ゲリラ・特殊部隊攻撃情報
- 大規模テロ情報
- 緊急に住民に伝達することが必要な情報

自然災害に関する情報

- 気象などの特別警報（大雨・暴風・大雪など）
- 緊急地震速報（震度5弱以上）
- 震度速報（震度5弱以上）
- 噴火警報（噴火警戒レベル4～5）

「避難警戒レベル」に注意

風水害、土砂災害の発生が予想される場合、状況に応じて下記の警戒レベルが発令されます。地域の方々にも声をかけながら、それぞれの警戒レベルに合わせてしっかりと行動しましょう。



※身の危険を感じたときは警戒レベルに関わらず避難してください。また、必ずしもレベル1から順に発令されるとは限りません。※「警戒レベル5緊急安全確保」が発令された場合は、これまでに経験したことのないような、危険が差し迫った異常な状況にあります。直ちに「命を守る行動」をとってください。

警戒レベル3や4が出たら、危険な場所から避難しましょう。

「避難」とは、「難」を「避けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

避難先は小・中学校、公民館だけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。

避難に関する情報

多種多様な情報伝達手段を用いて避難に関する情報を発令します。テレビやラジオ、インターネットやSNSなどを活用し、自ら情報を入手するように心がけましょう。

火事・救急は… **119** 番 警察は… **110** 番

災害用伝言サービス

災害用伝言ダイアル **171** 番

大規模な災害が発生し、電話がつながりにくい状況でも、伝言の録音・再生により、被災地内の家族や親戚・知人等と連絡を可能にするNTTボイスメールサービスです。

□録音 **171** → **1** → **0428** → **□□□□□** → 伝言の録音
△再生 **171** → **2** → **0428** → **□□□□□** → 伝言の再生
案内放送が流れます 市外局番(丹波山村) 被災地の方の電話番号

※詳しい内容はNTTのホームページで確認して下さい。
<https://www.ntt-east.eo.jp/saigai/>

携帯電話災害用伝言版サービス

大規模な災害が発生した場合、携帯電話各社のトップに「災害用伝言版」が追加され、自らの安否状態を登録することが可能になり、登録された伝言は、インターネットや携帯電話などから確認することができます。

特別警報について

防災MEMO② 気象情報の確認は「キキクル」で！

気象庁が提供する「キキクル（大雨・洪水警報の危険度分布）」を使用して、大雨時の災害発生危険度の高まりを地図上で随時確認することができます。



大雨特別警報

台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合。

暴風特別警報

数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により、暴風が吹くと予想される場合。

大雪特別警報

数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合。

暴風雪特別警報

数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合。

雪害による被害



急速に発達した低気圧がもたらす大雪により、村内でも道路の交通障害や農業被害、送電線への着雪による停電などの災害が発生するおそれがあります。どんな被害が想定されるか、知っておきましょう。

人 的 被 害

歩行中の転倒や交通事故、除雪作業中の事故など。

ラ イ フ ラ イ ン 被 害

電線や電話線の断線等により電気・電話が使えなくなる。道路や鉄道などの交通網が遮断され、移動が困難になり流通などに影響が出る。

建 物 被 害

家屋やカーポートなどの倒壊などが起こる。

雪 崩 被 害

土砂災害警戒区域など、山や斜面の多い地域で雪崩が発生する。

防災MEMO③ 山梨で大雪



平成26年2月、山梨県で記録的な大雪となり、甲府市で114cm、富士河口湖町でも143cmと、いずれもそれまでの過去最深積雪を大幅に塗り替える積雪を記録しました。

ハザードMAP

1 奥秋

避難行動への心得と備え

ハザードMAP

1 奥秋

2 上・中・下組

3 高尾・押垣外

4 保之瀬

5 所畑

6 鴨沢

7 小袖・杉奈久保

非常持出品・備蓄品

丹波山村全図

- ページ
 1 奥秋 7
 2 上・中・下組 8
 3 高尾・押垣外 10
 4 保之瀬 11
 5 所畑 12
 6 鴨沢 13
 7 小袖・杉奈久保 14

ハザードMAP

1 奥秋

2 上・中・下組

3 高尾・押垣外

4 保之瀬

5 所畑

6 鴨沢

7 小袖・杉奈久保

6

ハザードMAP

1 奥秋

2 上・中・下組

3 高尾・押垣外

4 保之瀬

5 所畑

6 鴨沢

7 小袖・杉奈久保

7

ハザードMAP

1 奥秋

2 上・中・下組

3 高尾・押垣外

4 保之瀬

5 所畑

6 鴨沢

7 小袖・杉奈久保

7

ハザードMAP

1 奥秋

2 上・中・下組

3 高尾・押垣外

4 保之瀬

5 所畑

6 鴨沢

7 小袖・杉奈久保

7

ハザードMAP

1 奥秋

2 上・中・下組

3 高尾・押垣外

4 保之瀬

5 所畑

6 鴨沢

7 小袖・杉奈久保

7

ハザードMAP

1 奥秋

2 上・中・下組

3 高尾・押垣外

4 保之瀬

5 所畑

6 鴨沢

7 小袖・杉奈久保

7

ハザードMAP

1 奥秋

2 上・中・下組

3 高尾・押垣外

4 保之瀬

5 所畑

6 鴨沢

7 小袖・杉奈久保

7

ハザードMAP

1 奥秋

2 上・中・下組

3 高尾・押垣外

4 保之瀬

5 所畑

6 鴨沢

7 小袖・杉奈久保

7

ハザードMAP

1 奥秋

2 上・中・下組

3 高尾・押垣外

4 保之瀬

5 所畑

6 鴨沢

7 小袖・杉奈久保

7

ハザードMAP

1 奥秋

2 上・中・下組

3 高尾・押垣外

4 保之瀬

5 所畑

6 鴨沢

7 小袖・杉奈久保

7

ハザードMAP

1 奥秋

2 上・中・下組

3 高尾・押垣外

4 保之瀬

5 所畑

6 鴨沢

7 小袖・杉奈久保

7

ハザードMAP

1 奥秋

2 上・中・下組

3 高尾・押垣外

4 保之瀬

5 所畑

6 鴨沢

7 小袖・杉奈久保

7

ハザードMAP

1 奥秋

2 上・中・下組

3 高尾・押垣外

4 保之瀬

5 所畑

6 鴨沢

7 小袖・杉奈久保

7

ハザードMAP

1 奥秋

2 上・中・下組

3 高尾・押垣外

4 保之瀬

5 所畑

6 鴨沢

7 小袖・杉奈久保

7

ハザードMAP

1 奥秋

2 上・中・下組

3 高尾・押垣外

4 保之瀬

5 所畑

6 鴨沢

7 小袖・杉奈久保

7

ハザードMAP

1 奥秋

2 上・中・下組

3 高尾・押垣外

4 保之瀬

5 所畑

6 鴨沢

7 小袖・杉奈久保

7

ハザードMAP

1 奥秋

2 上・中・下組

3 高尾・押垣外

4 保之瀬

5 所畑

6 鴨沢

7 小袖・杉奈久保

7

ハザードMAP

1 奥秋

2 上・中・下組

3 高尾・押垣外

4 保之瀬

5 所畑

6 鴨沢

7 小袖・杉奈久保

7

ハザードMAP

1 奥秋

2 上・中・下組

3 高尾・押垣外

4 保之瀬

5 所畑

6 鴨沢

7 小袖・杉奈久保

7

ハザードMAP

1 奥秋

2 上・中・下組

3 高尾・押垣外

4 保之瀬

5 所畑

6 鴨沢

7 小袖・杉奈久保

7

ハザードMAP

1 奥秋

2 上・中・下組

3 高尾・押垣外

4 保之瀬

5 所畑

6 鴨沢

7 小袖・杉奈久保

7

ハザードMAP

</div

2 上・中・下組

避難所

一時避難所

消火栓

送水管

防災行政無線

AED

急傾斜地：特別警戒区域

急傾斜地：警戒区域



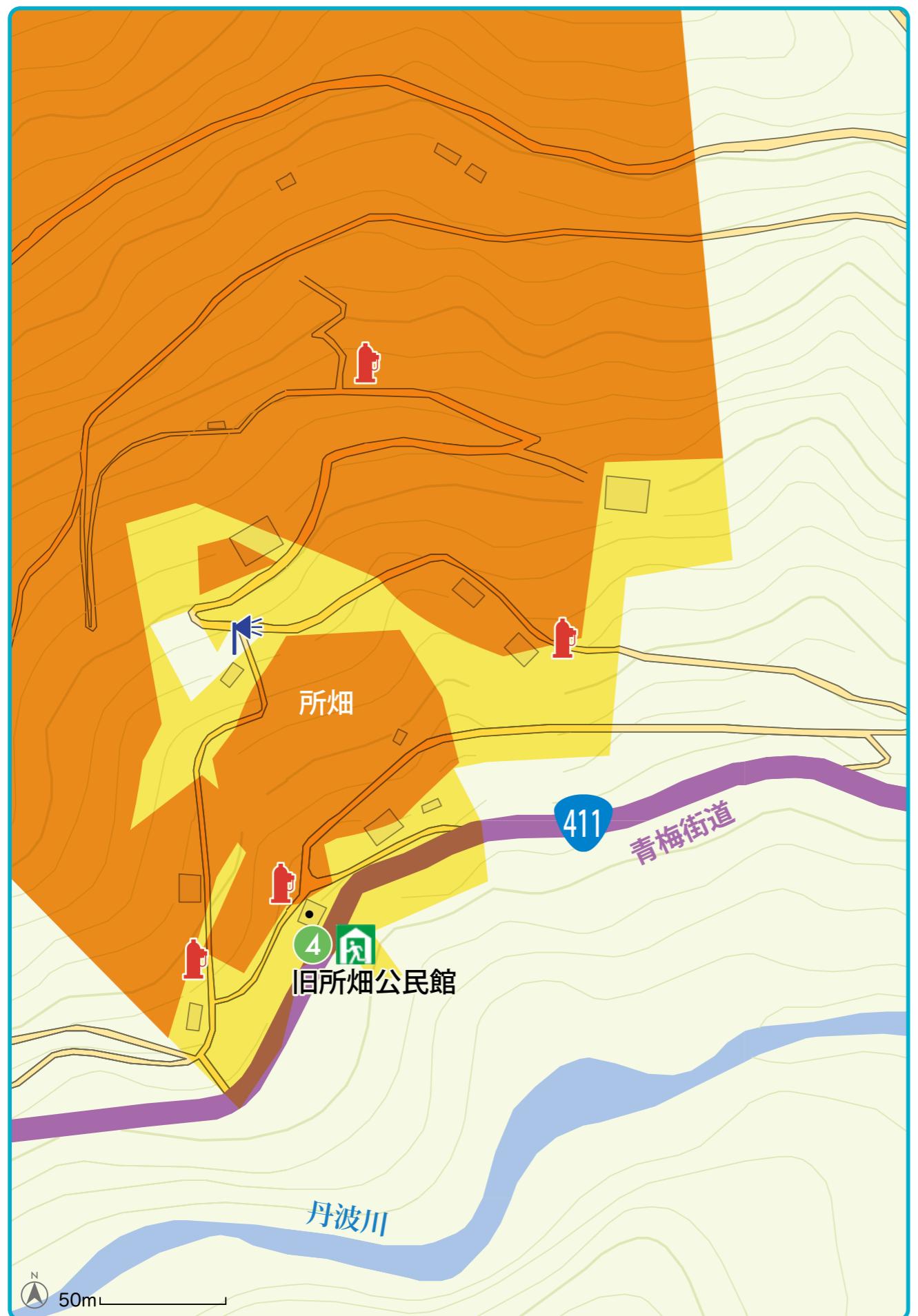
3 高尾・押垣外



4 保之瀬



5 所畠



6 鴨沢



7 小袖・杉奈久保

非常持出品・備蓄品



主な非常持出品と備蓄品リスト

いざというときのために下記リストを参考に、個人の生活スタイルに合わせて準備しましょう。

非常時の持ち出し品 すぐに持ち出せるように、リュックなどにまとめておきましょう

貴重品	<input type="checkbox"/> 現金(小銭も) <input type="checkbox"/> キャッシュカード <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 預金通帳 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 免許証 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> マイナンバーカード
非常食	<input type="checkbox"/> 飲料水(ペットボトル) <input type="checkbox"/> 栄養補助食品 <input type="checkbox"/> 菓子類
救急医療品	<input type="checkbox"/> お薬手帳 <input type="checkbox"/> 持病薬 <input type="checkbox"/> 常備薬(風邪薬・傷薬など) <input type="checkbox"/> ばんそうこう <input type="checkbox"/> 消毒液 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 除菌シート
生活用品	<input type="checkbox"/> 衣類 <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ティッシュ(ウェット) <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> ライター <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> スキンケア用品
その他	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 充電器 <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> ホイッスル <input type="checkbox"/> 電池 <input type="checkbox"/> 筆記用具

ポイント 携帯電話が使用できない場合を考え、10円玉などの小銭があると安心です。合わせて公衆電話の場所も確認しておくと良いでしょう。

備蓄品 最低3日分の準備、できれば7日分の備蓄を心がけましょう

食料・飲料水	<input type="checkbox"/> 飲料水(1人1日3リットル) <input type="checkbox"/> インスタント食品やレトルト食品 <input type="checkbox"/> 栄養補助食品 <input type="checkbox"/> 缶詰
燃料など	<input type="checkbox"/> 車上コンロ <input type="checkbox"/> ガスボンベ <input type="checkbox"/> 固形燃料
生活用品	<input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> 寝袋 <input type="checkbox"/> 洗面用具 <input type="checkbox"/> トイレットペーパー <input type="checkbox"/> 携帯トイレ <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ
その他	<input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ろうそく <input type="checkbox"/> ガムテープ <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> ポリタンク

赤ちゃんや介護を必要とする方などがいる場合は、次のようなものも必要です。
※各家庭の状況や介護の状態などに応じて備えてください

赤ちゃんがいる場合

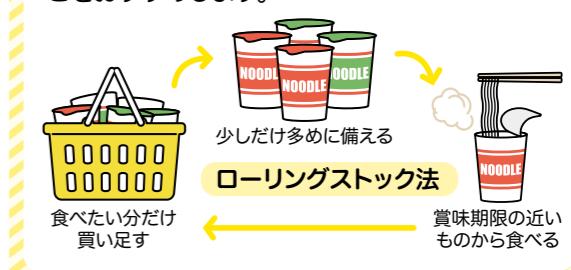
<input type="checkbox"/> ミルク、ほ乳びん	<input type="checkbox"/> バスタオル	<input type="checkbox"/> 消毒剤
<input type="checkbox"/> 離乳食、食器	<input type="checkbox"/> ガーゼハンカチ	<input type="checkbox"/> 紙おむつ
<input type="checkbox"/> お尻拭き	<input type="checkbox"/> 乳幼児用の薬	<input type="checkbox"/> おんぶひも
<input type="checkbox"/> 帽子、防寒着	<input type="checkbox"/> 母子健康手帳	<input type="checkbox"/> 衣類(着替え)

介護を必要とする方がいる場合

<input type="checkbox"/> おかゆなどの食料品(介護食)	<input type="checkbox"/> 衣類(着替え)
<input type="checkbox"/> 障害者手帳、介護保険証など	<input type="checkbox"/> 介護用品
<input type="checkbox"/> 紙おむつ	<input type="checkbox"/> お尻拭き
<input type="checkbox"/> 帽子、防寒	<input type="checkbox"/> 常備薬

防災MEMO 4
「ローリングストック法」を活用しましょう!

普段から使用する食品を多めに備蓄しておき、消費したらその都度補充すれば、常に一定の食品を自宅内に備蓄することができます。これが「ローリングストック法」です。なお、災害時は冷蔵庫の中の食料から使うことをおすすめします。



緊急連絡先

- 消防 119
- 警察 110

災害情報

丹波山村、山梨県
が情報提供している
ページ・アカウント

Yahoo 避難情報
(丹波山村)



Yahoo くらし
(丹波山村)



丹波山村公式
Twitter



MEMO

発行 丹波山村役場 総務課

〒 409-0300 山梨県北都留郡丹波山村 2450

TEL : 0428 (88) 0211

H P : <https://www.vill.tabayama.yamanashi.jp>